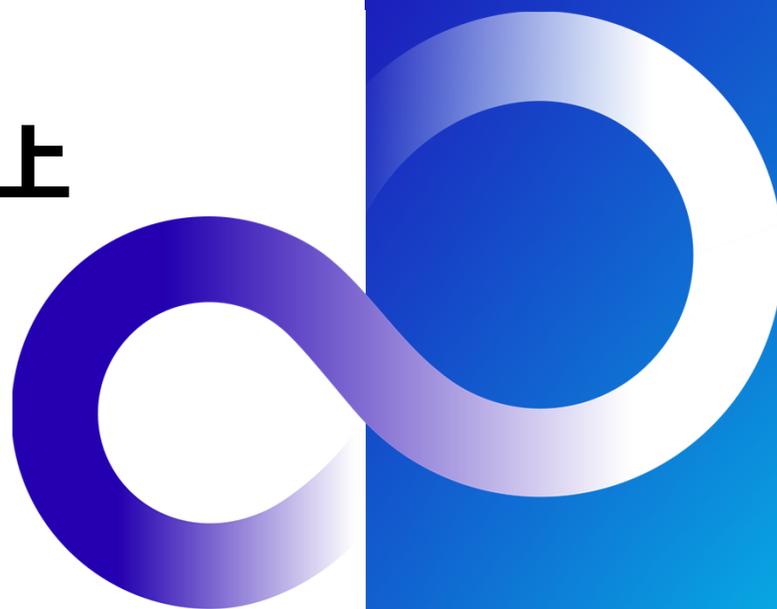


生産の効率化と顧客満足度の向上 FOREPALS 導入事例

富士通株式会社



国内や海外に拠点を置くグローバルなメーカー。自社に営業、製造、物流部門をもち、ERPシステムによって需給をコントロールしている。

お客様概要
業種 化学薬品や製造装置を提供するメーカー
年商 約800億
従業員 約1800名

営業



製造



物流



どうやって改善できる？

生販在計画を部門間で整合させるのが難しい・・・
数多くの製品ごとに実需に合わせた調整は、
現実的には困難なのか・・・
顧客は満足できているだろうか・・・
もっと精度の良い計画をシームレスに行って、
実需に合った生産と業務コストの改善が必要だ。



需給調整システムを導入して
ERPシステムと連携しよう！

- 改善点
- 顧客満足度の向上
 - 不良在庫（保管コスト、廃棄コスト）の削減
 - 生産の効率化
 - 需要～在庫～物流をシームレス化

需給調整システムはどれを使う？

選択のポイント

- 安定した需要予測精度が活用できること
- 既に構築されているERPシステムとの連携ができること
- 生販在計画を組織横断的に行えること
- 実需や受注残などを考慮して整合性を高められること
- 国内～海外拠点でのグローバルな情報共有ができること



FOREPALS

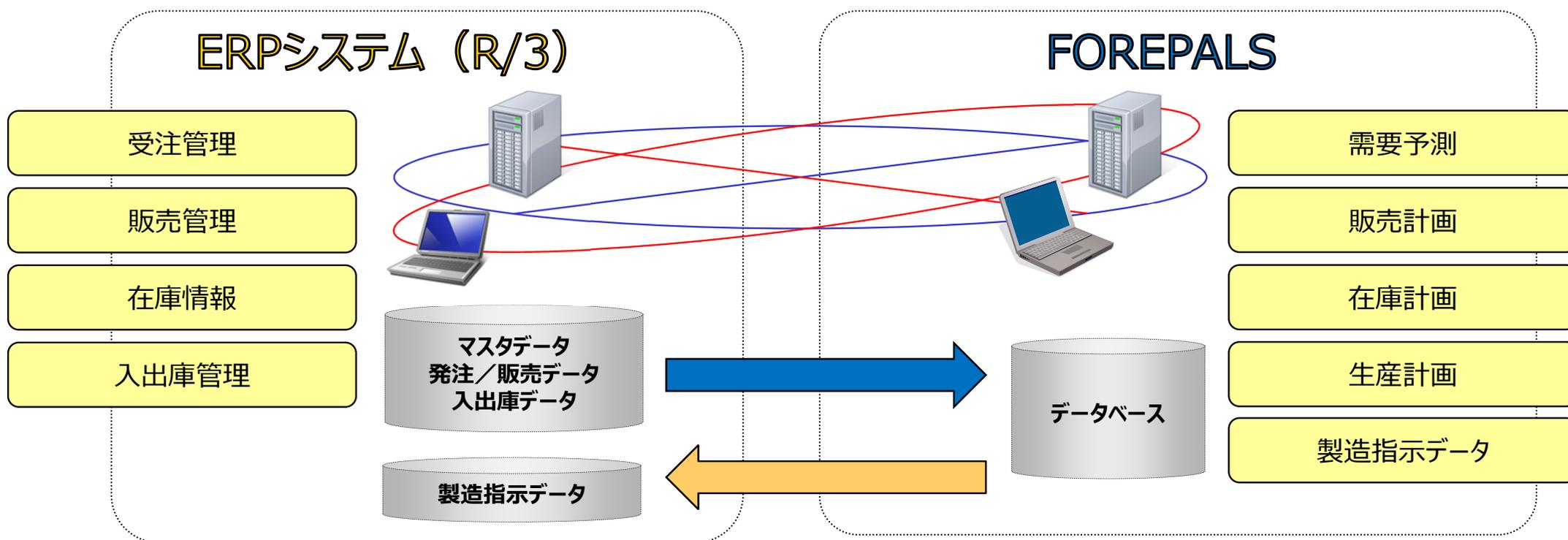
Forecasting Aided Planner And Pattern Learning Systems

ひとつのパッケージで需要予測と需給調整ソリューションを持ち、
在庫計画を連動したFOREPALSが適合！

A社のERPシステムとFOREPALSを連携したWEBシステムを構築

- ERPからのマスタデータ、実績系データをFOREPALSで取り込み、需要予測から各計画の指標値を作成
- FOREPALSの計画業務支援メニューで需給調整を行い、製造指示データをERPに連携

既存ERPシステム + 需給調整システム導入



各部門でシームレスに計画・実行を行う

入出庫計画

出荷拠点の在庫数量と生産拠点への入庫情報から、販売計画を満たす最適な在庫をコントロール

営業



販売計画

需要予測や受注残を基に販売計画（必要数）を策定

物流



生産計画

販売計画と在庫数量から必要な生産数を計画し、生産拠点への入庫時期を設定

製造



- 部門ごとの業務サイクルの違いを吸収・整合を実現
- 部門ごとに必要な視点でのデータの可視化・共有を実現
- 担当者レベルでの業務効率化を図るブックマーク、絞り込み検索機能を実現

改善点

- 顧客満足度の向上
- 生産の効率化
- 不良在庫（保管コスト、廃棄コスト）の削減
- 需要～在庫～物流をシームレス化

選択

目的に合致する
FOREPALSの基本機能



自社ノウハウを乗せてさらなる利便性向上

導入効果

- 効果的な需要予測・需給調整の実現 → 多品種、多商品（大規模）な管理が可能
- アラームや各種支援機能により業務を効率化
- トータルコストの削減 → 安定した需給計画と業務の効率化
- データの共有化・可視化 → 各種データを一元管理、データ活用範囲を拡大
- 廃棄ロスの削減とサービス率向上

生産の効率化と顧客満足度の向上

Thank you

